



★ 基本目標 **10**

「スマートな行財政運営」 に転換する

めざす姿

多様な主体がまちづくりに参画する
仕組みを構築し、協働を進めながら、
社会環境の変化に対応できる
スマートな行財政の運営

施策分野

協働

行財政

施策

32



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



多様な主体と築く協働によるまちづくりの推進

社会環境の変化による地域課題の多様化・複雑化に加え、あらゆる分野での担い手不足の顕在化などにより、行政と市民が一体となって取り組む協働のまちづくりの重要性が更に増えています。

そのため、市民のまちづくりへの主体的な参画を促進するとともに、地域や団体、事業者など多様な主体との協働を広げ深める仕組みを構築します。

市民のまちづくりへの参画促進

- 広報紙やSNSなど様々な媒体や手法を活用した地域課題や市政情報の市民との共有化
- まちづくりに関する市民意見の聴取や対話を通じた市民の参画促進
- 事業の企画から実施、検証までの各段階における市民との協働の推進

多様な主体との協働の仕組みの構築

- 多様な主体との様々な協働の取組を生み出す仕組みの構築
- 多様な主体の強みを活かした役割分担と連携の強化

施策

33



効率的で健全な行財政運営の推進

加速する少子高齢化・人口減少をはじめ、デジタル社会の進展や厳しい財政状況など、行財政運営を取り巻く環境は大きく変化しており、従来の制度や枠組みでは機能しない状況が生じつつあります。

こうした変化に柔軟かつ的確に対応できる行財政運営を行うため、デジタル技術の活用や民間活力の導入、広域連携の深化、徹底した行財政改革など制度・手法の見直しや創意工夫を更に進めます。

自治体 DX の推進

- デジタル化による「行かなくていい」「書かなくていい」「待たなくていい」「迷わなくていい」市役所の実現
- デジタル技術の活用による市民サービスの向上と業務効率化の推進

行財政改革の推進

- エビデンスに基づく政策立案や事業の見直しなど事業の新陳代謝の推進
- 公共施設の計画的・効率的な管理及び見直し
- 未利用地や施設の空きスペースなどの公有財産の利活用の強化
- 民間の創意工夫やノウハウを取り入れる仕組みの構築
- 自治体共通の課題に対応する広域連携の推進・強化

スマートな行財政運営を担う職員の育成と確保

- 社会環境の変化に対応できる職員の育成
- 心身ともに健康で、個々の能力を発揮するための柔軟な働き方の確立
- 人材の確保・定着の促進

各論

こどもたちが
久留米で働く
選択肢を持てるよう
にしたい

環境教育など
こどもの頃から
意識を育てる
ことが大切

行政と市民の
距離が近い
まちづくりを
してほしい

市民のみなさんからのコメント
ワークショップ意見